

あけましておめでとうございます

今年のお正月、私は箱根に行きました。暮れのうちにタイヤを4本新しく履き替えて、サイズに合うチェーンも買ってトランクに収めて、雪の箱根路に備えました。今回の箱根ドライブは箱根駅伝を車で走るという趣向でした。首都高速を神田橋で降り、大手町の読売新聞社前を出発して、駅伝のコースを忠実に車で走ります。「ここが六郷大橋」、「ここが権太坂」・・・というふうです。時間の関係で4区の大磯-小田原区間だけは西湘バイパスを使い、湯本駅前で昼飯を食べて、箱根の山に入りました。塔の沢、大平台、宮ノ下、小涌園前と、際限なく続く急な登り坂。ここを駆け登るなんて人間のすることか?!が実感でした。ゴール地点には、まだ紅白のゲートが残っており、そばにある箱根駅伝ミュージアムでグッズを買って旅は終わりました。幸い雪もなく助かりました。

日大は2区のダニエルが20人抜きをしました。けれど駅伝は特別速い走者がいてもだめだということを証明する結果になりました。少しのろくてもいいから、皆がむらなく走ってタスキをつなぐことが大事です。幼稚園も同じ。愚直であっていいから、心のこもった保育をすること。それを一人ひとりがやり通して、次の担い手に託していくこと。それでよくて、それがいい。改めてそう思ったお正月でした。箱根の山道を関東学連の学生さんたちがゴミを拾って歩いていました。感激しました。こういう誠意って大事だなと思いました。